

令和5年度第1回古賀市子ども・子育て会議 議事録

開催日時	令和5年8月3日(木) 13:30~15:30		
開催場所	サンコスモ古賀 203・204研修室	公開の可否	可
事務局	保健福祉部子育て支援課	傍聴者数	なし
公開しなかった理由			
出席者	委員	森保之会長、齋藤圭英委員、伊豆剛直委員、薄秀治委員、 大住奈留美委員、柴田重法委員、角森輝美委員、 前野恵理委員、小川真理子委員、梯裕子委員、末次威生委員、 牧幸子委員、石田愛美委員	
	事務局	宮上保健福祉部長、大浦子育て支援課長、吉武子育て支援係長、長野参 事補佐兼保育・手当係長、岩熊子ども家庭係長、市川子育て支援係員、 花田子育て支援係員	
	その他	なし	
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の交代について ・令和4年度施策の取り組みの進捗状況について ・こども基本法について 		
配布資料	資料1	古賀市子ども・子育て会議における委員の交代について	
	資料2	令和4年度古賀市子ども・子育て支援事業計画実施状況	
	資料3	こども基本法について	

○次第

1. 開会あいさつ
 2. 委員の交代について
 3. 第2期子ども・子育て支援事業計画に係る令和4年度施策の取り組み状況について
 4. こども基本法について
 5. その他
 6. 閉会のあいさつ
-

令和5年度第1回古賀市子ども・子育て会議（会議概要）

1. 開会あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 委員の交代について（資料1）

事務局より資料1に基づき、委員2名の交代について報告。

4. 第2期子ども・子育て支援事業計画に係る令和4年度施策の取り組み状況について（資料2）

事務局より資料2に基づき、令和4年度施策の取り組み状況について、概要説明を行う。

各委員からの質疑・意見については次のとおり。

○基本目標1

（委員）訂正依頼：(3)－2「中学生職業体験事業」の対象は、中学2年生ではなく中学1年生なので、訂正願いたい。

（事務局）訂正する。

（委員）乳幼児親子交流の場へ参加している親子は全体の1～2割といった感覚。その他の親子へのアプローチ方法を一緒に考えてほしい。育児休暇中の父親に積極的に事業に参加してもらいたいと考えている。

（事務局）令和5年度からでんでんむしの予約制を廃止した。LINE上で子育て支援関連事業の予約ができるようになり、少しずつ事業への参加が増えている。父親の参加も増加傾向。父親同士のコミュニティができることで、父親の育児参加のきっかけになればと考えている。

（委員）父親の育児休暇中の事業参加率はどれくらいか。

（事務局）事業への男性の参加率は把握しているが、育児休暇中の参加率までは把握していない。

（委員）地域での事業に父親の参加者が増加している。父親と子だけで参加するケースも増えており、今後も増加を見込んでいる。

○基本目標2

(委員) 自分自身が子育て応援サポーターとして活動している。新生児が生まれた家庭に、健診等に必要となる書類を持参し、訪問活動を行っているが、児に会えないことも多く、支援や見守り活動や結びつきの強化につなげることが難しい場合が多い。

(事務局) 子育て応援サポーターからの報告をもとに継続フォローにつながっていることがある。保護者の安心感にもつながっている。

(委員) どの家庭も子育て期は孤立しがちである。手紙や訪問を行うこと自体が喜ばれている。

○基本目標 3

(委員) (3)－16 中学生が簡単にコンビニでたばこやお酒を購入できる実情がある。立ち入り調査の際に、明らかな未成年によるたばこやお酒の購入について、年齢確認徹底の指導をしてほしい。

(事務局) 主管課に連絡する。

(委員) (3)－6 道路の用地買収の予定の場所は具体的にどこのことか。

(事務局) 主管課に確認後、次回回答する。

(委員) 古賀東中学校の生徒の多くが自転車通学をしている中、幅員の狭い道や道路上の穴など通学路が危険な状況が続いている場所がある。子どもたちの安全のため、早急に対応してほしい。

(事務局) 主管課に連絡する。

○基本目標 4

(委員) (3)－16 部活動の外部指導員の割合はどれくらいか。外部指導員、イコール教職員ではないが、適切な指導はできているか。

(委員) 令和7年度からの部活動の地域移行に向けての進捗状況はどうか。「地域総ぐるみの教育」を着眼点に、しっかり協議してほしい。

(事務局) 2点を教育委員会に確認後、次回回答する。

(委員) (2)－4 定員超過により病児保育を提供できないことがあったとあるが、提供場所を増やす方針はあるか。また、利用にあたって、前日予約ができず、当日朝しか予約ができないと伺ったことがあるが、その点はどうか。

(事務局) 福岡東医療センター内の施設に加え、こでまり小児科内の施設でも事業を実施している。(どちらの施設も前日から予約可能。)さらに、令和5年度から近隣自治体と広域利用の開始、県下での病児保育無償化により利用しやすくなった。

(委員) 小中学校の教員は、正規・非正規ともに、全国的に足りていない。3年ほどは今の不足状況が続く見込み。

(委員) 幼稚園・保育園は、職員数が足りないと子どもの受入ができない。人材派遣会社をお願いするなどの無理をした人材確保は、職員の質の低下につながる。職員の質の低下は、こどもの教育に影響する。教育・保育提供体制の充実をうたうのであれば、人材確保の対策、職場環境の整備対策にもっと力を入れてほしい。

○基本目標 5

・質疑なし

5. こども基本法について（資料3）

（事務局）国が作成するこども大綱、県こども計画を反映させた、一体的な市こども計画策定を検討している。

（委員）前向きに一体的な計画策定を検討してほしい。

6. その他

（事務局）令和4年度実施の「第2期古賀市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し」について修正なく完了の旨報告

（委員）「こどもまんなか社会」を考える機会をつくる予定、案内させてもらいたい。

7. 閉会あいさつ